



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN's CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops



倉卓也会長主題：『あしたのために』～一步一步を大切に～

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
- アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
- 西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
- 京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ～世界のワイズが輪になって～
- メネット主題 「愛の心」～原点に立ち返って私たちに出来ること～

- 会長: 倉卓也
- 副会長: 新山 堅一
加藤 清一
- 書記: 藤田 正康
- 会 計: 笠井 俊明
東田 吉末



マタイによる福音書
思い悩むのは止めなさい 明日には明日の悩みがあるのだから

東田 吉末 ys選



「ファンド委員長を務めて」

ファンド委員長 高坂 幸征 ys

皆様いかがお過ごしですか？

この1ヶ月のわずかな期間に様々な出来事が起こりました。その中でも東日本大震災は大変なショックを受けました。テレビで連日放送されている被災地の状況を見ていると、逆に自分達が勇気付けられ、健康である事や食事が出来る事など、普段当たり前前に思っていた事の大切さに気付かされる始末です。

でも！！現在の日本は皆ちからを合わせ一つになっているような気がします。スポーツ選手や芸能人など日本にとどまらず、世界中の人達が東日本の復帰を願い応援しています。

Topsクラブが今後発展し続ける為にも、拡大成長を維持し大きな長期計画を掲げ、メンバーが一丸となる必要があるのではないのでしょうか？ 私はこの一年間ファンド委員長として活動させていただき、一人一人のちからは微力でも、皆さんの気持ちが集まり大きな結果となるファンドは、自分にとってもいい経験になりました。今後可能であれば、単年度制ではなく長期に渡るファンドを計画し、メンバーの増員や資金の調達にもつながり、Topsクラブにかかわる全ての人々が幸せになれるファンドを考えて行きたいと思っています。

今期のファンド目標は、おかげを持ちまして達成する事が出来ました。毎月例会にて集金ばかりですみませんでした！そして皆様ご協力ありがとうございました。

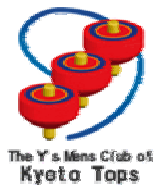
エコ標語

「クルマ止め、灯りも消して
目明かりで楽しむ 夜の館」 森田 茂実 作

4月強調月間

Yサ・ASF

YMCAの歴史に学び、使命を理解して、サポートの体制を強化しよう。



3月報告	第一例会出席		B F ポイント		スマイル		ファンド		献 血	
	メンバー数 (広義会員3名含)	出席メンバー	現金	0円	3月	0円	3月現金	0円	3月	0cc
	31名	6名								
	メ ネット	0名								
	メーキャップ	0名								
	出席率	94%	累 計	0円	累 計	75,300円	収益累計	877,162円	累 計	800cc



今期はトップスクラブの歴史が始まって以来の急激な会員増加で、今までの例会の中で二回に一回は入会式があったように思います。長い間、毎年、お題目の様にクラブの目標は「メンバー増強」が大きな柱となっていました。が、「ダムが決壊するかのように」いや「花が咲くかのように」一気に開花し、ワイズメンズクラブとして「この世の春」を迎えた様です。少し言い過ぎでしょうか。

御蔭様で事業予算にも少々余裕ができ、委員会運営や各事業運営も非常に楽になりました。そして何か頭の上の重しが久しぶりに取れたようなスッキリな感じもします。しかし全て良い事ばかりではありません。あまりにも急激にメンバー増強の目的が達成された為、従来形のクラブ運営の手法では様々な所で軋みが生じて来た様に思います。と言う事で、ドライバー委員会では新旧のメンバーの交流を目的に、今回のめんばーすびーち例会を企画されました。

いつものように倉会長挨拶の後、EMC牧野委員長司会による清水さんの入会式、東田次期会長による次期各委員長の発表、乙坂交流委員長によるIBC西面クラブ訪問報告と続きメインのめんばーすびーちが始まりました。

その5名のスピーチの内容は、プライベートな話も交えた、笑ったり驚いたり、誠実さに感心したりの自己紹介となり、思わず聞き入る内容で、スピーチ終了後は一気にクラブにおける人間関係の距離が近くなりました。そしてトップスクラブとして非常に有意義な、過去と未来が結び付いた素晴らしい例会で、まるで高級料亭で懐石料理を食べ終わった様な感覚です。(高級料亭で懐石料理を食べた事は有りませんが、おそらく・・・)

そんなたっぷりの満足感をクラブメンバーに与えてくれた高坂 y、田頭 y、西浦 y、巴山 y、東田 y、本当にありがとうございました。これからも同じメンバーとして宜しくお願い致します。



EMCシンポジウム



2月25日にメルパルクホールにて今期2度目のEMCシンポジウムが開かれました。トップスクラブは順調にメンバーを増やしていることからEMC主任やEMC主査のお話を他クラブの方々には食入のように聞いておられました。またグローバルクラブの大岩さんのお話しも、若い方の斬新な切り口でワタシにも『ほ～そう言う方法もあったのか!』と目からウロコのお話もありました。

数は力だと言った政治家もいましたが、最近その言葉がヒシヒシと感じているのは僕だけでは無いはずで、トップスクラブもメンバーが増えてこそ行なえる行事があったり、今までやって

来たイベントもより充実できたりと、やはりパワーが漲るようです。思いを形にしたり、思いやりを見えるようにしたりするにも多くのメンバーでその喜びを分かち合えたらもっともっと大きな喜びになるような気がします。20人のクラブなら1人の喜びは20倍に、1人の悲しみは20分の1になるのでしたらもっともっとメンバーを増やして喜びは大きく悲しみは小さくなるよう各クラブでメンバーが増えるように努力していきましょう。

東日本大震災緊急支援街頭募金協力のお礼

本日は、各クラブの皆様には街頭募金にご参加いただきありがとうございました。本日の街頭募金の報告をさせていただきます。東日本大震災緊急支援街頭募金は、おかげさまで京都部14クラブにリーダー、留学生、ボランティアビューロメンバー、野外活動メンバーに職員、一般市民参加者を合わせて200名弱の参加を得て、市内8箇所で行われ、募金金額597,371円(銀行での集計前)が集まりました。寒い中、街頭に立っていただきました皆様に御礼申し上げます。

東北関東大震災があったばかりの日曜日、重い気持ちで三条YMCAにむかった。第1部に礼拝があり社会に出てからは悪魔の誘惑が多いが負けてはならないとのお話があった、負け続きの私には少し耳の痛い内容であった。第2部は卒業するリーダーたちの思いが発表された。話を聞いて共通することはうれしいことばかりでなく、むしろつらいことの方が多かったがそれだけに達成感の大きさも、成し遂げた時の喜びも何倍にも返ってき、仲間たちとの絆が強く感じられている、一人でもYMCAという気持ちを持って巣立っていく決意が感じられた。結びにリーダーの代表が震災の話に触れ、やれることをやっていきたいと、力強く語っていたのが印象的であった。第3部は懇親会であったが所要のため中座した。

若いうちのいいものだと思えて実感した時間であった、そして生きるということも、、、。



次期会長・主査研修会

2011/3/12~13
東田 吉末 ys

2011年3月12~13日 大阪にあるチサンホテルにて恒例の次期会長・主査研修会が行われました。私自身、次期会長を拝命いたしましたし、いまいちピンと来なかったのですが、クラブ内の先輩たちの言葉に“研修会に行ったら、ガラッと締って帰ってくるわ!”という言葉も聞いて“ほんまかいな~”って思っていました。

当日の朝、新山EMC主任の高級車のお迎えで現地に滑るように到着し、軽く2人で食事を取らせて頂きました。その時も主任からクラブ運営の在り方や今回の研修会での流れを手取り足とり教えて頂きました。そのレクチャーのおかげで研修会中も恥をかく所が優等生のような扱いをして頂き“やはり先輩の言う事には聴いとかにやいかな~”と実感致しました。

夜には、フェロウシップがあり乾杯の前に地震の被災者の為に黙祷を捧げてから親睦の時間が始まりました。他の部から来られている時期会長や次期主査とも名刺交換や意見の交換をいたしました。また西日本区大会などでお会い出来ればよい親睦が出来る事でしょう。そして その後は新山主任の独断場!いつものコースをいつものように!

次の日は、事務的な事や各部に分かれ次期への想いをぶちまける時間などがありました。もちろん その場でもトッパス魂を噴射しておきました。何とも言えない充実感で会場を後にして、向かうは、京都 山科 焼肉屋!トッパスの皆さんの歓迎会!“なんか凄く嬉しかったです!”食事を取りながら皆さんの顔を見て やっぱ気が引き締まりました。頑張ってみせます! 最後になりましたが 親鳥が小鳥をかばうように何から何まで面倒を見て頂きました新山Ys、忙しい中 歓迎会を開いて頂いた皆さん、気に掛けて頂メールや電話を下された方々、そして すべてのメンバーに感謝申し上げます。



写真は語る

清水 寿和 ys



3月より入会させて頂きました、清水寿和です。トッパスクラブの事は何も分からないので、以降ご指導ご鞭撻を宜しくお願いするとともに、多々ご迷惑をお掛けすると思いますが宜しくお願い致します。

写真は、昭和43、44年頃で当時4、5歳のものです。写真の裏に「長谷寺にて」とあるので奈良県の西国三十三箇所のひとつ長谷寺に参拝した時のものと思われます。当時は、外食が主流ではなく家族で外出時は、お重箱におにぎりとおかずを沢山詰め込んで持参していました。お昼になると至る所で敷物を敷いて、お弁当を広げていたと記憶しております。

当時の私は、同年の人と比べるとおっとりしていて、何をやるのも最後の方で、後ろからついて行くタイプでした。幼稚園時は、折り紙の鶴が折れなかったり、普通に出来る事が出来

なかったと記憶しております。この年になっても、ドンくさいなあと思う事がたくさんあり、マイペースで行動が遅いことも多々あると思いますが、そのときは遠慮なく注意して下さい。ご迷惑を掛けないように精一杯皆さんについて行こうと思います。

3月11日に東北地方の太平洋沖で起きたマグニチュード9.0の大地震は、地震の後に起こった大津波によって太平洋沿岸各地に未曾有の被害をもたらした、多くの尊い命が失われました。また避難して生き延びた多くの人々も家と家財の一切を波に奪われ、生活の基盤をなくしたまま避難所での生活を余儀なくされています。多くの避難所の中には支援の手も届かず、ライフラインもなかなか回復しない中で耐えておられます。京都YMCAでは、この災害で亡くなられた方の為に祈りを捧げ、被災された方々の為に支援の働きをしたいと思えます。

全国のYMCAでは、阪神大震災のときと同じように、全国のYMCAと共同で被災された方々の支援のために「東日本大震災緊急支援募金」を開始いたしました。この募金は日本YMCA同盟を通してYMCAの行う被災者支援プログラムや被災者への支援物資に当てられます。

震災直後は、水道や食糧の確保、電気などのライフラインの確立や通信の回復などが最優先ですが、しばらくたつと精神的なストレスから来る体調不良など様々な問題が起きてくるのがこれまでの経験から知られています。また被災地の復興に欠かせないがれきの除去や、障がい者や外国人、独居老人など支援の手が及び難い人々への支援も必要となり様々なニーズが生まれてきます。YMCAでは当面の緊急支援だけでなくこれらの中長期の復興支援を視野に入れて支援活動を展開していきます。

今回の震災は、安全や便利な生活が当たり前だったわたしたちのこれまでのライフスタイルが問い直されているとともに、社会の危機に際し見ず知らずの人々がお互い助け合い協力することができるかどうかを試されているのではないのでしょうか。

YMCA・ワイズメンズクラブの連帯によってこの未曾有の困難に立ち向かうことを誓い、一日も早い安全の確保と復旧、復興のために、力をあわせて進むことを決意するものであります。皆様の尊いご支援とご協力をお願いいたします。

1. 東日本大震災緊急支援募金

京都YMCAでは、このたびの大地震で困難な状況にある人々を支援するために、緊急支援に取り組みます。皆様からいただく募金は、日本YMCA同盟と協力して、被災地にあるYMCAを通して被災された方々を支援するための活動に用います。また、京都YMCAが加盟している京都災害ボランティア支援センターが行う被災者支援活動にも用いられます。

緊急募金期間 4月30日(土)まで 募金方法 京都YMCA 1階窓口または、郵便振替でご送金ください。

郵便振替 口座番号01050-7-19132

加盟者名 京都YMCA奉仕活動基金

通信欄に「東日本大震災」と明記してください。

奉仕活動基金のご協力をお願い

2. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで今年も25名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきます。

3. 奉仕活動基金のご協力をお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。

今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 2011年4月~6月

1口募金額 1,000円(何口でも結構です。)

納入方法 京都YMCA各館受付または、郵便振替でも受け付けております。

4. 第7回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン 参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時 5月22日(日) 午前9時~午後3時 雨天決行
場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋~出雲路橋 1週1.7km/北山橋~出町橋 1週5.1km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円)/グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円)/一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円)/ペアラン(1チーム1,000円)

スポンサー募集 趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円(企業・団体) 一口 5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

5. リトリートセンター第12回夜桜フェスタ

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントをおこないます。

とき 2011年4月17日(日) 午後5時~8時

ところ 京都YMCAリトリートセンター

集合・解散 現地 JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。

参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料 チケットは三条本館にて販売中

6. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第51回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 4月16日(土)午後7時~9時 場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 お一人300円(お茶代等) お申込は下記お電話または vb@kyotoymca.or.jp まで

全てのプログラムに関するお問合せ・お申し込みは 電話(075)-231-4388 FAX(075)-251-0970

E-Mail kyoto@ymcajapan.org(ボランティアセミナー除く)

スケジュール

4月・5月

4月 2日(土) 一泊次期役員研修会
~ 3日(日)

4月13日(水) 通常例会
4月27日(水) 役員会

5月12日(金) CATT合同例会
5月22日(金) チャリティーラン

5月25日(水) 役員会
5月29日(金) ぐんぐんハウス焼肉交流会